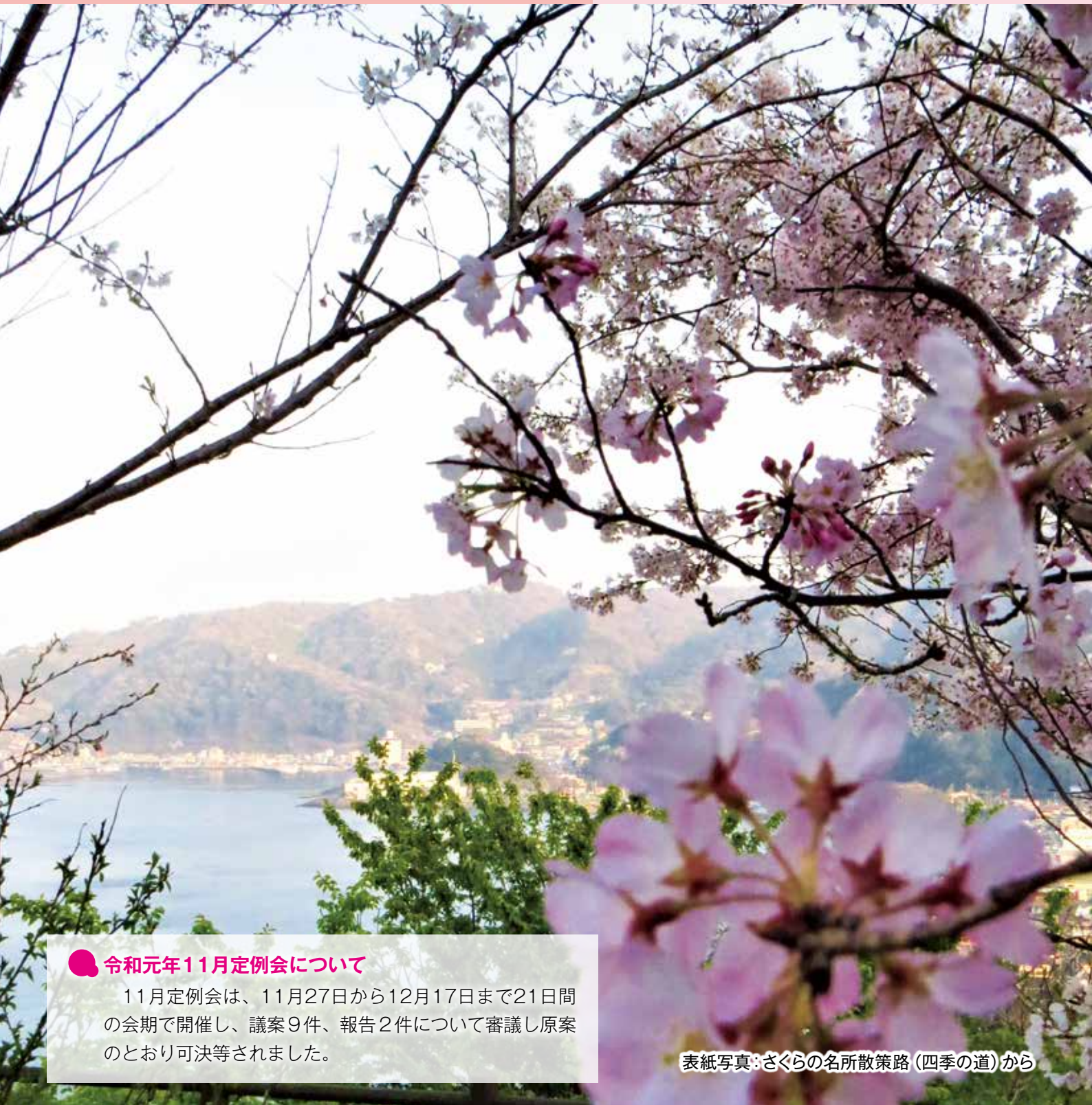


# あたま 市議会だより

第41号  
令和2年  
2月10日

P2~7	令和元年11月定例会 質疑および一般質問(要旨)
P7	議会のはてな?
P8	賛否が分かれた議案・討論
P9	令和元年11月定例会 議決結果 各委員長報告
P10~12	議会からの報告・お知らせ



## 令和元年11月定例会について

11月定例会は、11月27日から12月17日まで21日間の会期で開催し、議案9件、報告2件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真: さくらの名所散策路(四季の道)から

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1

TEL 0557-86-6644

FAX 0557-82-7287

E-mail [gikai@city.atami.shizuoka.jp](mailto:gikai@city.atami.shizuoka.jp)

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



よねやま ひで お  
**米山秀夫** 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
総務福祉教育委員会  
(委員長)  
広域行政推進特別委員会

## 地域コミュニティ活動の推進について 幼児教育・保育無償化に関して

**質問** この事業が目標とするところはなにか。また、今後の事業計画をどの様に考えているのか。

**答弁** 地域の課題は地域に住む人が主体的に多数の参加によって解決しなければならぬとする考え方を、市民も行政も等しく理解し、自治の形を変えていくことを目標に事業を進めていく。今後の事業計画として、「地域づくり勉強会」を引き続き開催し、地域住民が主体的な自治を担うための意識の醸成、雰囲気づくりをさらに

進めていき、課題を解決する手法を自ら考え実践することを、制度設計面や財源面などを通じて側面から支えていきたい。

**質問** 一人の保育士が子どもたちの安全に目が届く児童数の見直しや、乳幼児教育の方針・考え方について、現場の保育士の学びの機会が必要との意見があるが、本市の認識を尋ねる。

**答弁** 保育士の配置については、国の基準に基づき運営しており、また、保育士の確保がままならない状況にお

いて、本市としても難しい現状にある。新年度より保育の質の向上策として、教育カリキュラムの一部民間委託を考えている。このアウトソーシングにより、保育士の業務負担軽減を相乗的に図るとともに、保育士の資質向上のため研修についても保育現場とともに考えていきたい。



## 台風19号による断水時の給水活動について 若者があふれる企業誘致活動における関係人口増加の取組みについて

**質問** 給水活動における山間地域への個別給水、特に高齢者住宅への対応が課題と考える。市として今後どのように対応するのか。

**答弁** 給水タンク等を設置して行う拠点給水を行い、このことにより病院や介護施設、学校等優先して給水が必要な場所へ給水を行うことができた。高齢者住宅への個別対応等については、町内会・民生委員の皆様、ボランティアの方々を中心となり対応いただいた。今後は防災・福祉部門と相談していきたいと考えている。

**質問** ビジネスにおける関係人口増加への取組みについて、実態の把握ができるように、何らかの指標を定め、市として具体的に目標を掲げて取り組むべきではないか。

**答弁** 本市においても、関係人口の拡大、閑散期・平日対策として※ワーケーションを推進しようとするならば、環境整備としての※ワーキングスペースなどの確保も政策課題となるので、目標及び指標を設定しつつ取り組む必要があると思う。※ワーケーションという働き方が定着することは、観光地熱海としては大きなビジネスチャンスにつながるものと考えているので、本市にある資源を活用し、本市ならではの事業展開ができるよう民間とも協調しながら取り組んでいきたい。



ごとう ゆういち  
**後藤雄一** 議員

自民党・公明党・女性の会  
熱海梁山泊  
◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。

# 質 疑 一 般 質 問



かわぐち たけし  
**川口 健** 議員

## 熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会 (委員長)  
広域行政推進特別委員会

### 台風19号の影響について

### 学校におけるICT活用 of 充実について

### 「熱海大火の教訓」について

**質問** 函南町の県道熱海箱根峠線、伊豆の国市の県道熱海大仁線の全面通行止め状況は、

**回答** 県道熱海箱根峠線は、応急工事により年内に仮橋が架かり、片側交互通行となる。伊豆の国市へ至る県道熱海大仁線は、県道伊東大仁線や林道中野本線があり、迂回路が確保されているとの理由で年内の交通開放は難しい。

**質問** 断水地域では、消火栓も利用できない。断水時に火災が発生した場合の対策は、

**回答** 断水地域の防火水槽63基は満水状態を確認する緊急点検を実施。消防団には防火

水槽の位置の再確認や中継送水の支援を依頼。断水地域の消防団員から断水状況の情報収集、近隣消防本部に火災発生時には、水槽付消防ポンプ車や大型水槽車の応援を要請させていただく旨、事前に連絡調整を行う。災害時協定を結んでいる熱海生コンクリート販売協同組合に対して、火災の際のミキサー車による支援についてお願いしたい。

**質問** 小中学校におけるICT活用の今後

**回答** 閣議決定の内容では、小学5年生以上と中学生に対して2022年までに一人

1台を完了するスケジュールで予算化。機会を逃さず、国の補助スケジュールに合わせ可能な限り早期に整備したい。

**質問** 令和2年4月13日に熱海大火から70年となる。本市の防火の重点目標は、

**回答** 市民の暮らしを守り大切な命を守る「住宅用火災警報器」の設置率の向上が重点目標。

**要望** 熱海大火から70年の節目に市民の防火思想の高揚と消防に対する理解を深めていただくようなイベントの開催など検討を。

内容では、小学5年生以上と中学生に対して2022年までに一人

## 幼児教育・保育の無償化について 高齢者が安心して相談できる体制について



いなむら ちひろ  
**稲村 千尋** 議員

## 熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会

**質問** 国の幼児教育・保育の無償化は3〜5歳を対象として、一部の給食費を除く保育料が無償化された。市長が表明した0〜2歳児を対象とする市単独の無償化の検討状況は、

**回答** 市単独の無償化の実施及びその時期については、お示しできない状況。

**質問** それならば、給食費の無償化を先行できないか。給食費の金額は、

**回答** 年額、幼稚園が2万9,700円。保育園は5万4,000円。

**質問** 保育料の完全無償化は引き続き検討して頂くが、来年度から給食費等の支援を実施できないか。

**回答** 3〜5歳児の給食費のうち副食費の無償化を実施方向で考えたい。

**質問** 静岡県は65歳以上

の高齢者の消費生活相談が一万件を突破。高齢になり認知能力が低下し、自分の判断では消費者被害を防げない高齢者が増加。本市は全世帯数2万1,550世帯の58.5%が高齢者のみの世帯。高齢者の皆さんが安心して相談できる体制を構築すべきでは。

**回答** 市内3ヶ所の高齢者相談センターや社会福祉協議会の「日常生活自立支援事業」で相談に対応していく。

**質問** 消費者被害や医療介護、終活などワンストップで相談を受け付けて解決すべき。総合相談窓口の整備を。

**回答** 高齢者の様々な困りごとをワンストップで受け止めていきたい。

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。



やま だ はる お  
**山田治雄** 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会  
(委員長)

## 熱海市の高齢化は疾病なのか 県水断水箇所を本市はどう検分したか

**質問** 令和2年度予算編成方針の中に記されている表現に、高齢市民の1人として耐えがたいところを指摘し、市長にその取り消しと、陳謝を求める。それはこの文書の中の「熱海市の現状」に、「地方自治体のいわば三大疾病とも言える人口減少、高齢化等」とのこと。

高齢化を疾病と捉えることは絶対容認できない。

**答弁** 令和2年度予算編成方針における表現について、ご指摘箇所については、他意が

あったものではないが、言葉の選択として適切な表現でなかったことを反省しお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

**質問** 県水の送水管が布設されている函南町丹那地内の町道で崩壊があった状況を本市はどのようにみているか。この送水管の材質劣化状況についてのどのように承知しているか。また、この崩壊した送水管は今どこに保存されているか。

**答弁** 本市まで送水するための最短距離を

考え、今回の場所を選定し、送水管を布設することになったと考えている。送水管の状態については、県が行っている施設管理や管体調査の結果を踏まえ、使用可能な状態であったものと理解している。破断した管は、柿田川支所家庭取水場に保管してあり、期間は特に定めていないが、少なくとも災害査定までは保管しておくことを県企業局に確認している。

## 台風被害時の同報無線について 断水事故水道料金等の減額措置について 熱海ビーチラインの値上げの影響について



はし も と かず み  
**橋本一実** 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
(副委員長)  
広域行政推進特別委員会

**質問** 台風15号において警戒レベル4避難勧告を発令した際、緊急速報メールによる住民への周知は行われたが、同報無線による放送が行われなかった。同報無線を使うべきではないのか。

**答弁** 住民の命に係わる情報伝達は大変重要なものと承知しており、決して「見逃し」が許されるものではない。このことを踏まえ、台風19号の対応では、同報無線を含むすべての情報伝達手段を用いての運用に努めた。「台風15号の際も同報無線は使うべきだった」。

され減免措置は行わないが、県企業局に対し何らかのサポートができないか相談しているところ。県企業局から支援を受けられたら、何らかの市民へのサポートは実施する。

**質問** 熱海ビーチラインが大幅値上げを実施するが、市民割引やETC導入など目に見える利便性向上を事業者に求めることはできないか。

**答弁** 既に事業者側も回数券の割引率を大きくするなど、努力をしているが、ETC導入などの考え方については事業者側に確認したい。

**要望** 国道135号の渋滞も含め、本市のみならず伊豆半島全体の印象に関わり、道路管理者である県や警察などと協議し、県境の案内標識等課題改善に向けた取組みを強く要望する。

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。

# 質 疑 一 般 質 問



むらやまけんぞう 議員  
**村山憲三**

熱海市政調査会

◆ 所属委員会 ◆  
観光建設公営企業委員会  
公共施設整備等特別委員会

**ブルネイ王国とのホストタウン化計画の進捗状況を示して起雲閣敷地内に外資系ホテルを誘致できないか**  
**下多賀の祭りに際して子どもたちの事故防止は万全か**

**質問** ブルネイ王国を対象とした東京オリンピックピック・パラリンピック「ホストタウン計画」を進めているようだが、本市のメリットをどのように考えているか。

**答弁** ブルネイ王国は日本にとってエネルギー政策上の重要国であり、厳格な※ハラル認証で知られるブルネイとの交流は、今後増加が予想される東南アジアのイスラム諸国からのインバウンド誘致や経済交流の点でメリットがあると考えている。

**質問** 熱海市内に一軒もない外資系ホテルを「起雲閣」敷地内に誘致し「迎賓館ホテル」として企業誘致して、新しいインバウンドの開拓や若年層の雇用促進を急げないか。

**答弁** 公共施設マネジメント推進会議や関係者との協議が必要であるが、観光・経済の活性化について、街並み及び観光インフラの整備は、「熱海2030ビジョン」の考え方に沿うものとなり得ると考える。今後、インバウンド誘致を進める上で、外資系

ホテルの進出やノウハウは本市の誘客にプラスとなり、若年層の雇用促進につながるものと考ええる。

**質問** 下多賀の祭りで、子どもたちが山車を引く時間帯に下多賀旧道の車の通行を規制して事故防止に取り組めないか。

**答弁** 町内会の負担は大きいものと思われるので、必要とされる許可申請やバス等の迂回通行などの関係機関との調整に積極的に関与していきたい。

## 障がいをお持ちの方のスポーツ推進について



こしむら おさむ 議員  
**越村修**

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
広域行政推進特別委員会  
(委員長)

**質問** 持続して障がい者スポーツの振興が図られるようにするためには、何が課題で、何をすべきと考えているのか。

**答弁** 本市の障がい者スポーツの現状が把握しきれていないことが課題であり、まずは関係者などのご意見をしっかりと伺い、関係機関と連携した取り組みをしていくことが重要と考える。

**質問** スポーツ推進計画では「障がいのある人もない人も、共にスポーツができる機会を提供するとともに、全ての人が一緒になつてスポーツを楽しみ、気軽に交流できる環境づくりを推進する」と明確に謳われているが、取組みの状況は。

**答弁** 障がい者スポーツ大会のみである。  
**要望** 気軽に交流できる環境づくりを推進するよう要望する。

**質問** 障がい者の方がスポーツ施設を利用した場合の減免措置等の状況は。

**答弁** 第二小学校屋内プール及び福祉センターは使用料の免除、市民グラウンドは5割減額。マリンスパは560円の料金設定をしている。

**要望** マリンスパの料金は熱海市民と同料金であり果たして障がい者が減免されているのか疑問。小山公園内にあるテニスコート・多目的ホール、マリンスパや姫の沢のスポーツ広場、学校開放の体育館などは減免措置がないので減免を要望する。また、既存のスポーツ選手奨励や選手育成強化補助制度は障がい者をお持ちの選手に特化したものとなっていない。障がい者スポーツの裾野を広げるためにも基準緩和を要望する。

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。



すぎやまとしかつ  
**杉山利勝** 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
(副委員長)  
公共施設整備等特別委員会

中小企業振興基本条例について

**質問** 中小企業振興基本条例の必要性についての認識はいかがか。

**答弁** 県内でも多くの自治体で条例化されており、本市においても検討しなければならぬ。

**質問** ※DMOの役割は観光という手段を用いて市内総生産を増やし、地域内経済循環の拡大を図ることで、産業と雇用を守り市民のくらしを精神的にも豊かにすることを指すものと理解している。今後は、市内に呼び込んだ人を市内総生産の向上にどの様に結びつ

けるのが課題だが、この点はいかがか。

**答弁** 宿泊業・小売業においては、地元調達率を高めることは重要な課題であるとともに、重要な指標になるものと考えている。

**質問** グローバル化の中で大企業を中心に海外への直接投資が進み、国内では工場の閉鎖や縮小により、雇用の創出等が進んだ。本市においても※DMOが市内総生産の向上に貢献できるかを明確化するべき。そのためこの条例は必要ではないか。

**答弁** 熱海型※DMOでの取組みだけではなく市内の観光・産業行政を進める上で地域経済の基盤となる中小企業・小規模事業者の振興は必要不可欠。条例の制定は、小規模事業者の振興策を推進する拠り所として正当性・永続性を付与するだけではなく、本市の最上位の法令でこれまで以上に中小企業の振興していく姿勢を明確にするものと考えている。

国際医療福祉大学熱海病院の分娩休止問題について／移住促進について



あか お こういち  
**赤尾光一** 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会  
広域行政推進特別委員会

**質問** 分娩できる医療機関が一医院しかなくなってしまう本場に安心して子どもが産めるのか。また市として、国際医療福祉大学にどのような働きかけをしていくつもりか。

**答弁** 現在の状況やそこに至った経緯、理由等を詳細に確認するとともに、分娩の継続や休止した場合の早期再開等も含め、病院側と協議を進めていきたいと考えている。

**要望** ぜひ、積極的に残留に向け迅速な行動をお願いしたい。

**質問** 移住者を増やすための本市の方策を教えてください。

**答弁** 本市の施策としては、直接的には移住を希望される方の相談に応じるほか、必要に応じて不動産会社への橋渡しをしている。また、静岡県内の「ふじのくに」に住みかえる推進本部が実施する移住相談事業に参画している。

**質問** 一例で言えば、三浦市もお試し移住・トライアルステイ事業を行い、4年間で235世帯の移住につながっている。ぜひ、本市としても取り組むべきと思うがいかがか。

**答弁** 神奈川県三浦市では、移住を検討している方に空き家等を活用して短期間のお試し移住を体験していただくことで「移住のきっかけづくり」とするプログラムを実施している。トライアルは民間不動産と協働で実際に賃貸・購入が可能な31件の物件に3週間から一ヶ月の期間で行われ実績が出ている。トライアルステイの取組みは、特に子育て世代、働き世代の方々の移住を促すうえで、効果が期待できる事業。本市においても検討する必要があると考えている。

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。

# 質疑一般質問



こさか さちえ 議員  
小坂幸枝

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会  
公共施設整備等特別委員会

## 加齢性難聴について

### ―実態把握と相談窓口を

**質問** 難聴による障害者手帳の所持人数と受けられる支援は。障害認定は受けていないが聞きづらさを抱えている高齢者の実態把握は。

**答弁** 聴覚障害による障害者手帳所持者は184名。そのうち9割近くは65歳以上。等級により異なるが、補装具費、自立支援医療費の支給、税の減免、鉄道運賃の割引などの福祉サービスがある。難聴により孤立しやすくなっている高齢者の実態把握はしていない。

**質問** 加齢による難聴で困っている、補聴器購入の負担も大変という相談はどこにすれば良いか。補聴器購入後は補聴器を調整するフィッティングと脳が音を聞き取れるようにするトレーニングを必要とするサポートを要。そのサポートをする認定補聴器技能者は本市に何人いるか。

**答弁** 高齢者の相談窓口として、市内3ヶ所の高齢者相談センターを設置している。認定補聴器技能者の人数については把握していない。

**質問** 補聴器購入に對しての補助を行う自治体も増えている。加齢性難聴についての啓発活動や実態調査が必要ではないか。

**答弁** 高齢者相談センターと連携を取りながら、対象となりそうな高齢者の把握に努め、専門医への受診を促していきたい。加齢性難聴は、高齢者の社会的な孤立の一要因でもあると考えている。

# 議会の はてな？



## 質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記されている言葉についての説明です。

**P2 ワークーション**  
「ワーク」と「バケーション」から造られた造語。休暇をとりながら働くこと。

**P2 コワーキングスペース**  
場所に縛りがない環境で、職務スペースを共有しながら仕事を行う働き方をコワーキングといい、その働き方を支えるのがコワーキングスペースという施設。

**P5 ハラル認証**  
イスラム法の規定に合致した食品や商品・サービスであることを認定するシステムのこと。イスラム教では、豚肉や酒類等の摂取が禁じられているため、商品の製造工程でそれらが使用されていないこと等が求められる。

**P6 DMO**  
「Destination Management Organization」の頭文字を取った単語で、自然や食など地域の観光資源に精通し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う法人のこと。

※ \_\_\_\_\_ で表記されている言葉については、P7の解説を御参照ください。

## 11月定例会 賛成・反対が分かれた議案等（本会議）

議員名・会派名 議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	山田治雄 市民ク	橋本一実 市民ク	小坂幸枝 共産	村山憲三 市政調	後藤雄一 梁山泊	米山秀夫 梁山泊	泉明寺みずほ 梁山泊	田中秀宝 梁山泊	赤尾光一 成風	越村修 成風	竹部隆 成風	川口健 成風	杉山利勝 成風	高橋幸雄 成風	稲村千尋 成風	
議案第65号	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第67号	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	—	○	○	○	○	可

議長（11番 竹部隆）は採決に加わりませんので、「—」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

※議案第65号のみ、特別多数議決が必要な議案であるため、議長も採決に加わります（特別多数議決については、P10を御覧ください。）。

議決結果 可=原案可決 採決結果 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席（遅刻、早退を含む。）

会派名 成風=熱海成風会 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク=熱海市民クラブ 市政調=熱海市政調査会

共産=日本共産党

討論とは…議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明すること。

### 議案第65号 熱海市離島初島簡易水道条例を廃止する条例

#### 反 対 米山秀夫議員

特別多数議決が必要な公の施設の廃止と当局は答弁で明らかにしたが、この条例の内容は公の施設にかかるものではない。議案提出の妨げとなる認識であり、議案第67号との整合性が問われる。

#### 賛 成 山田治雄議員

熱海市離島初島簡易水道事業施設を上水道事業施設とするため、公の施設の廃止について議会の同意を求めたもので、今回上程されている他の議案と異なり、議会において出席議員の3分の2以上の特別多数議決を要するものとして、必要な措置と認める。

### 議案第67号 水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

#### 反 対 米山秀夫議員

水道法の一部改正の拡大解釈、特別多数議決とするべき案件、十分な議論が必要であり、単独の議案とすることが妥当であり、反対する。

#### 賛 成 山田治雄議員

離島初島簡易水道事業を特別会計から公営企業会計に移行し、能率的な運営と基盤の強化を図る等関連する条例や引用する条項の改正など所要の改正を行おうとするもので、必要な措置と認められる。



## 11月定例会 議決結果（本会議）

### 〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第63号 令和元年度熱海市一般会計補正予算（第4号）	可決（全員）	議案第69号 熱海市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員）
議案第64号 令和元年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）	議案第70号 熱海市と湯河原町とのし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務の委託に関する協議について	可決（全員）
議案第65号 熱海市離島初島簡易水道条例を廃止する条例	可決（多数）	議案第71号 熱海市と真鶴町とのし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務の委託に関する協議について	可決（全員）
議案第66号 熱海市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決（全員）	報告第11号 専決処分承認について（令和元年度熱海市一般会計補正予算（第3号））	承認（全員）
議案第67号 水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決（多数）	報告第12号 専決処分の報告について（市管理海岸環境整備施設のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	報告
議案第68号 熱海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（全員）		

# 委 員 長 報 告

## ●観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第63号	可決（全会一致）	台風19号による被害のあった道路の倒木処理等に要した委託料等の増額補正等、必要な措置と認める。
議案第65号 議案第67号	可決（賛成多数）	必要な措置と認める。
報告第11号	承認（全会一致）	必要な措置と認める。

## ●総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第63号 議案第68号 議案第64号 議案第69号 議案第66号	可決（全会一致）	熱海ふるさとサポート寄附金の返礼品に要する経費や、台風19号による起雲閣の屋根の一部の破損に対する修繕料の増額補正等、必要な措置と認める。
報告第11号	承認（全会一致）	必要な措置と認める。

## ●広域行政推進特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第63号 議案第71号 議案第70号	可決（全会一致）	本市と湯河原町、真鶴町がし尿等の共同処理事業を実施するにあたり必要な債務負担行為の補正予算等、必要な措置と認める。

# 熱海市メールマガジンに 登録されていますか？

「熱海市メールマガジン」は、熱海市役所が発行するメールマガジンです。広報あたみの放送内容や消防・防災情報などをパソコンや携帯電話、スマートフォンに受け取ることができます。広報あたみの放送が聞こえなかった、聞き逃してしまった…。台風などの自然災害の際にいち早く情報が知りたい。そのような時にメールマガジンは大変有効な手段となります。

この機会に、登録をしてみませんか？

## 登録方法

- ①熱海市ホームページの熱海市メールマガジン登録サイトにアクセス  
■<https://service.sugumail.com/atami/>
- ②配信を希望するメールマガジンを選ぶ
  - 広報あたみ放送内容
  - 消防・防災情報
 ※このほかにも防犯情報や観光情報などの登録もできます
- ③登録する（メールを受け取りたい）メールアドレスを入力
- ④登録完了！

こちらの  
QRコードからも  
アクセスできます



大規模な自然災害が増えている今だからこそ、ぜひ登録し必要な情報をいち早く入手しましょう。

## 特別多数議決とは？

議会の会議において、議題となっている案件の審査を行う際、その意思決定は出席議員の過半数で決するのが原則となっていますが、法律に特別の定めがある場合、意思決定に過半数より多くの同意を必要とするものがあります。これを特別多数議決といいます。

11月定例会で議題となった案件の中で、「議案第65号 熱海市離島初島簡易水道条例を廃止する条例」が、この特別多数議決を必要とする案件です。

この案件は、熱海市の公の施設である「初島簡易水道事業施設」を廃止し、「上水道事業施設」としようとすることから、この施設の設置について規定されている「初島簡易水道条例」を廃止するものです。

この初島簡易水道事業施設を廃止するには、「熱海市議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例」第3条に規定する、議会において出席議員の3分の2以上の同意を得なければならない施設となっていることから、特別多数議決に該当する案件として審査を行ったものです。

他にも、特別多数議決を必要とする案件としては、

- ① 秘密会の開催（出席議員の3分の2以上の同意）
- ② 直接請求による副市長等の解職（出席議員の4分の3以上の同意）
- ③ 議会の解散の議決（出席議員の5分の4以上の同意）

などがあります。

## 全国温泉所在都市議会議長協議会の 役員会などが行われました



熱海市議会議長が会長を務める、全国温泉所在都市議会議長協議会（加盟市105市）の役員会が、11月6日に東京都の都市センターホテルで開催されました。会務報告などが行われた会議の終了後、実行運動を行い、「温泉所在都市に対する税財源措置及び施策に関する要望書」を総務省・国土交通省・厚生労働省・環境省・全国温泉振興議員連盟会員等に提出しました。

なお、全国温泉振興議員連盟役員等については、後日11月18日に別途要望活動を行いました。

## ●総務福祉教育委員会 行政調査報告

委員会が実施した先進地への行政調査について、委員が報告いたします。

### 調査先および調査内容

調査日程 令和元年10月28日～30日

#### 〈愛媛県今治市〉学校給食における無農薬・有機農産物の使用について



今治市役所にて

今治市の学校給食は、小学校26校、中学校16校、島しょ部の高校2校の計44校の児童・生徒を対象として21か所の調理場において運営されている。無農薬農産物や有機農産物を使った学校給食は、全国でも先進的な取組みである。地域の農業研究会からの提案を受け、保護者と地域と行政が一体となって進めてきた。安心・安全で新鮮な食材を子どもたちの給食に提供することは、地域ぐるみの子育て支援となるが、その生産農家が減少していることから地域における農業振興が大きな課題である。無農薬農産物や有機農産物は、形が不揃いであることなどから、調理の際に手間がかかるのが難点。本市においても、安心・安全な食材を積極的に学校給食に取り入れるとともに、食べ物に感謝する心を育てる食育を一層推進していくことが重要であると感じた。

#### 〈愛媛県松山市〉子育て応援券交付事業について

松山市では、子育て支援として第2子以降の出生時に紙おむつ購入券5万円分を交付している。この制度は、県内の製紙産業の振興と子育て支援の両方を主眼とした県主導の事業で、県内全ての市町が実施主体である。事業開始は平成29年度、費用負担は県1/2・市1/2、企業から協賛金を得て「官民協働」で実施している。松山市における応援券の交付枚数に対する利用率は、ほぼ100%である。地場産業の活性化と子育て支援とを結びつけた大変わかりやすい事業である。その他、松山市では子育て支援として子ども総合相談窓口の設置や小児救急医療の充実が図られている。本市においても、若年層の安定した雇用先の確保や住宅政策など、安心して結婚・子育てができる社会環境の整備に重点を置きつつ、松山市のような経済的な支援も少子化対策の一つの手法となり得ると感じた。



松山市役所にて

## ホームページから議会の視聴ができます！

熱海市議会では、市民の皆様が開かれた議会をより一層推進するため、インターネットによる本会議録画映像の配信をおこなっています。

平成29年6月定例会以降の本会議、質疑・一般質問の様子からご覧いただくことができます。今後も定例会本会議の2日目と3日目に行う質疑・一般質問の審議状況を録画し、会議後、概ね1週間後に市議会ホームページ上にアップされますので、ぜひご覧ください！

熱海市議会ホームページ



このボタンをクリック

会議名・議員名で検索できるだけでなく、  
キーワードからも検索できます！



次回

## 熱海市議会 令和2年2月 定例会



### 主な日程

2月25日(火)	10:00~	本会議(議案上程)
3月9日(月)	10:00~	本会議(質疑・一般質問)
3月10日(火)	10:00~	本会議(質疑・一般質問)
3月11日(水)	10:00~	広域行政推進特別委員会
	13:00~	公共施設整備等特別委員会
3月12日(木)	10:00~	観光建設公営企業委員会
3月13日(金)	10:00~	総務福祉教育委員会
3月17日(火)	10:00~	本会議(審議採決)

※日程は変更になる場合がございます。

## 議会を傍聴 しませんか？

熱海市議会では、本会議や委員会の傍聴を受け付けています。

手続きは簡単ですので、お気軽にお越しください。

### ●本会議

本会議の当日に【市役所第3庁舎3階エレベーター横】の傍聴受付までお越しください。傍聴券を発行します。

### ●委員会

各委員会の当日に【市役所第3庁舎2階議会事務局】までお越しください。



次回の市議会だよりは、5月8日発行予定です。

<議会だより編集委員会> 委員長：越村 修 副委員長：橋本 一実  
委員：赤尾 光一・後藤 雄一・小坂 幸枝